



個人投資家向け会社説明会

2024年10月23日

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead > *Beyond*

株式会社 荏原製作所

1. 会社概要
2. 中期経営計画「E-Plan2025」
3. 決算進捗
4. 株主還元・株主優待
5. トピックス

1. 会社概要

2. 中期経営計画「E-Plan2025」

3. 決算進捗

4. 株主還元・株主優待

5. トピックス

創業

大正元年
1912年 → **2024**年
\\ **112**年目 /

関連会社数



..... **117**社

本社所在地



東京都大田区
羽田

従業員数



連結 **19,629**名
単体 **4,688**名



みのくち式渦巻ポンプ

荏原の挑戦へのDNAはここから始まった

荏原製作所は、みのくち式渦巻ポンプを製作する
大学発ベンチャー企業として1912年に創業



創業者 畠山一清



井口在屋教授

創業の精神『熱と誠』

創業者 畠山一清は『熱と誠』の精神で事業を拡大

製品で見る荏原の事業の歴史

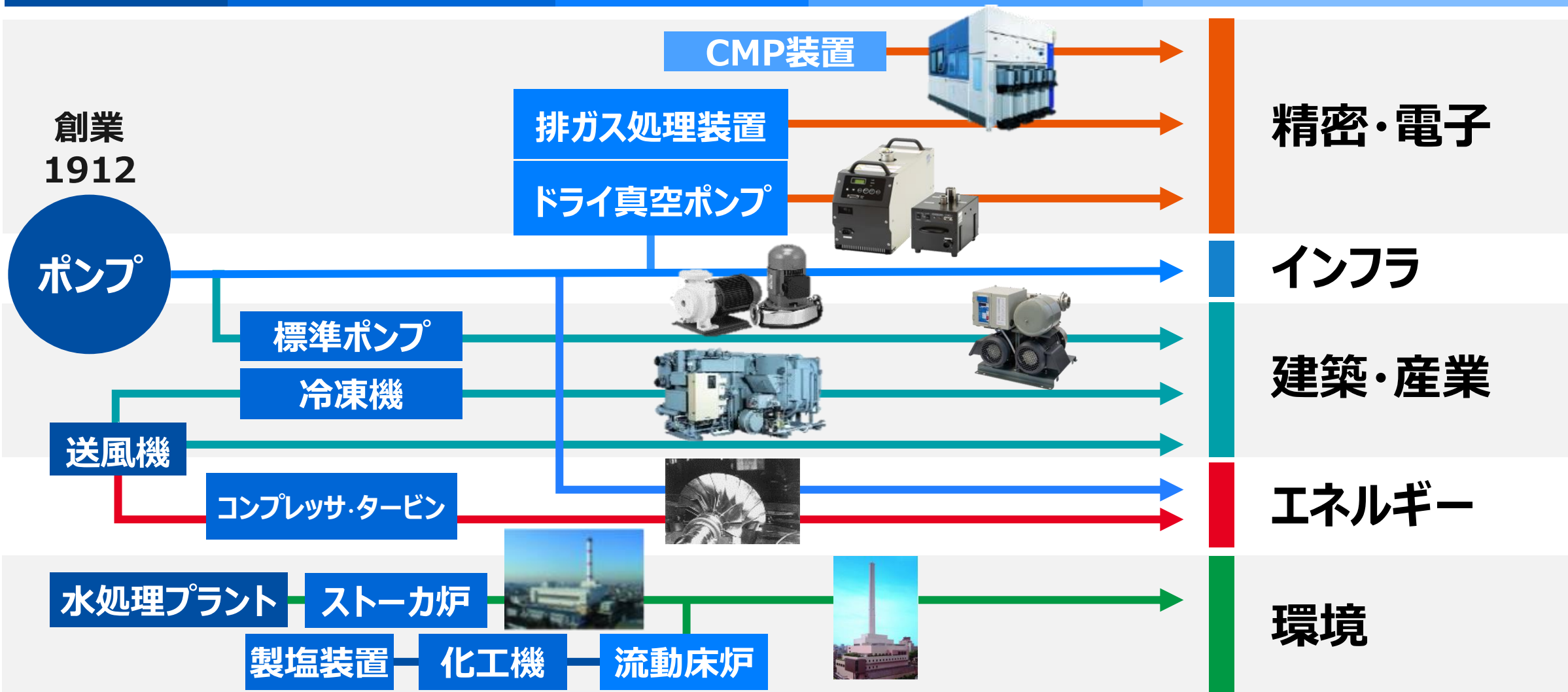
1912
日本の近代化

1945
戦後復興と高度経済成長

1980
情報化社会の進展

2000
持続可能な社会の模索

2020~
多様性と包摂性のある社会へ



くらしを支える荏原の製品



ビル・マンション
給水ユニット



田畑
農業用ポンプ



トンネル
送風機



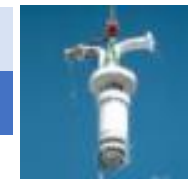
排水機場
排水ポンプ



競技場
冷凍機



LNG基地
クライオジェニックポンプ



火力発電所
ボイラ給水ポンプ



石油化学プラント
コンプレッサ



廃棄物処理施設



半導体工場
CMP*装置
ドライ真空ポンプ
排ガス処理装置




*Chemical Mechanical Polisher



世界中で活躍する荏原の製品



ラスベガス（アメリカ）

 取水ポンプ




マーライオン（シンガポール）

 噴水システム



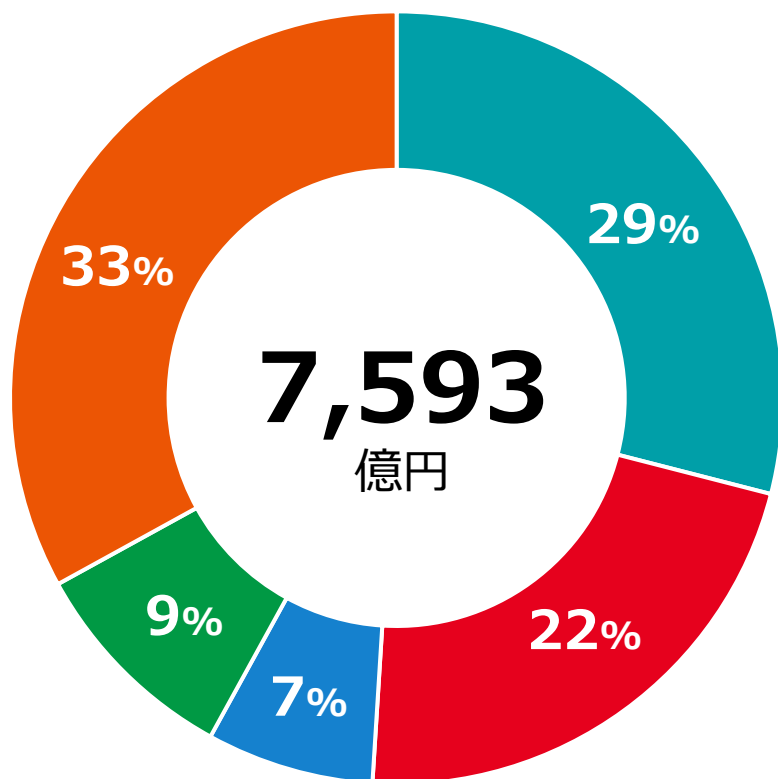
コロッセオ（イタリア）

 凹凸部の清掃

荏原の事業構成（2023年度）



売上収益構成比



建築・産業	2,221	億円
エネルギー	1,672	億円
インフラ	501	億円
環境	715	億円
精密・電子	2,469	億円

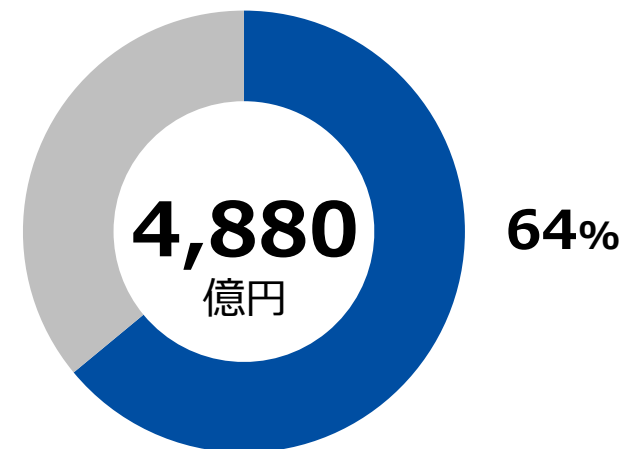
営業利益

860 億円

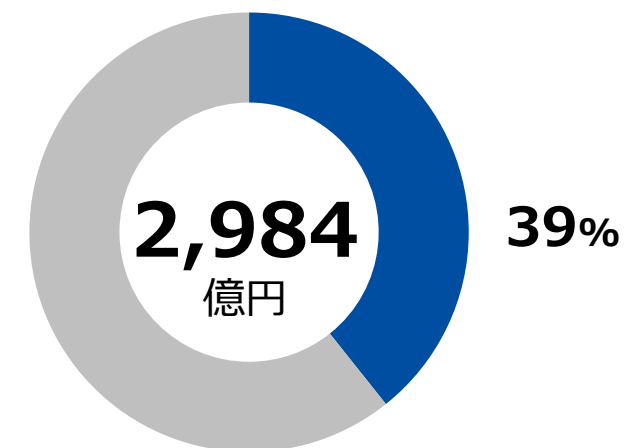
営業利益率

11.3%

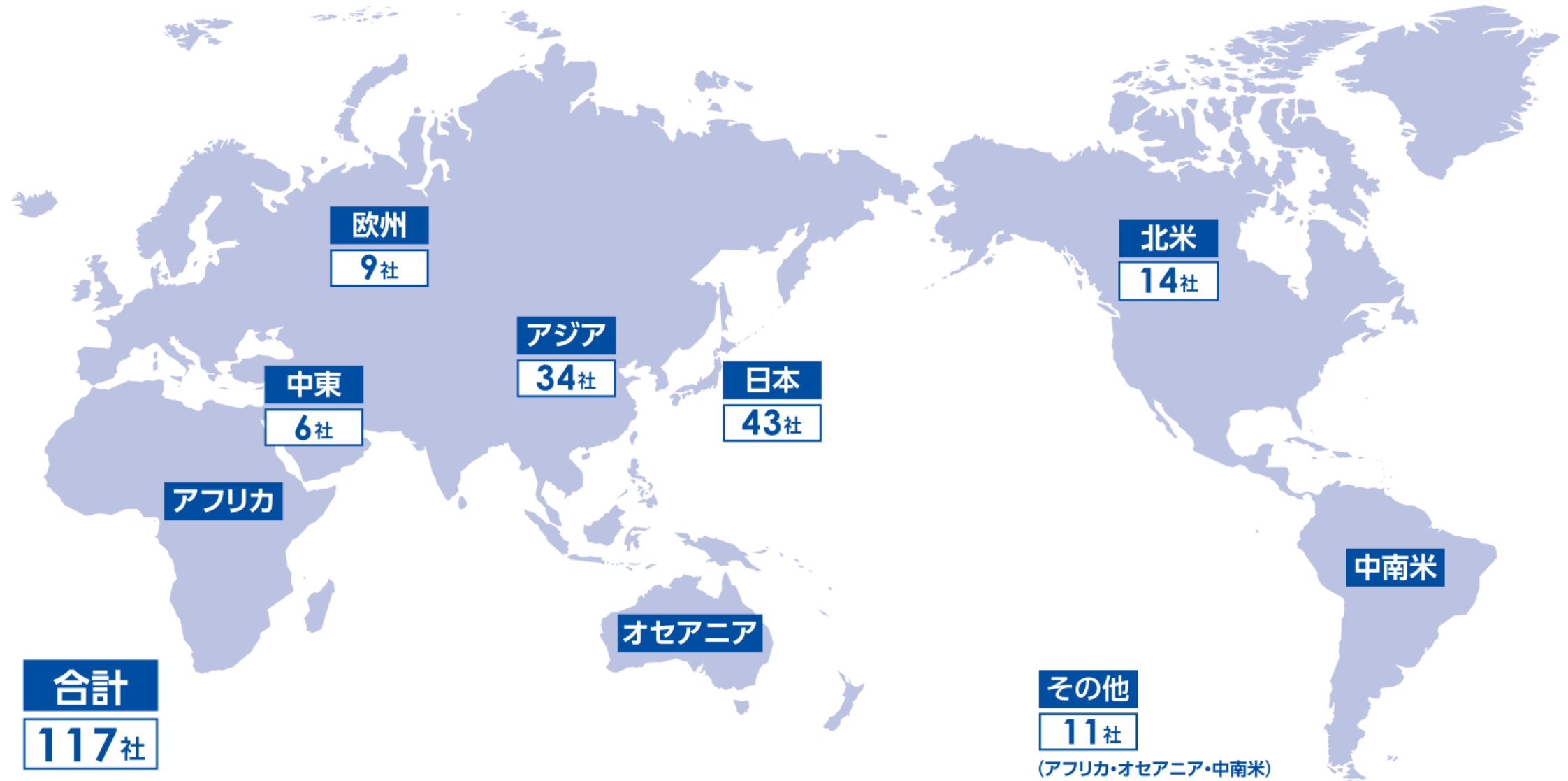
海外売上収益比率



サービス&サポート売上収益比率



世界に広がる荏原の拠点（合計117社）



※2023年12月末現在における主な関係会社を含む

創業以来100年以上にわたり培ってきた「技術力」と「信頼力」で、業界トップクラスのシェアを誇る製品や多くの納入実績などを誇っています。

建築・産業

標準ポンプ等の
年間生産台数

世界で約**130万台**以上

標準ポンプ国内シェア

No.1



冷却塔国内シェア

No.1



エネルギー

石油・ガスパラント
(ダウンストリーム)向け
コンプレッサ

**世界
トップシェア**



液化天然ガスの
製造設備向けポンプ・
エキスパンダ

**世界
トップシェア**



多様な市場への対応力

- 水関連施設向け
- 発電所向け
- 石油・ガス・
化学プラント向け

インフラ

排水機場用ポンプ
国内シェア

No.1



ポンプの
国内排水機場設置数

1,000か所以上

環境

国内外の
廃棄物処理施設
累計納入数

500施設以上

廃棄物処理施設での
運転管理受託数

80施設以上

精密・電子

CMP装置の
累計出荷台数

3,000台以上

CMP装置、
ドライ真空ポンプ

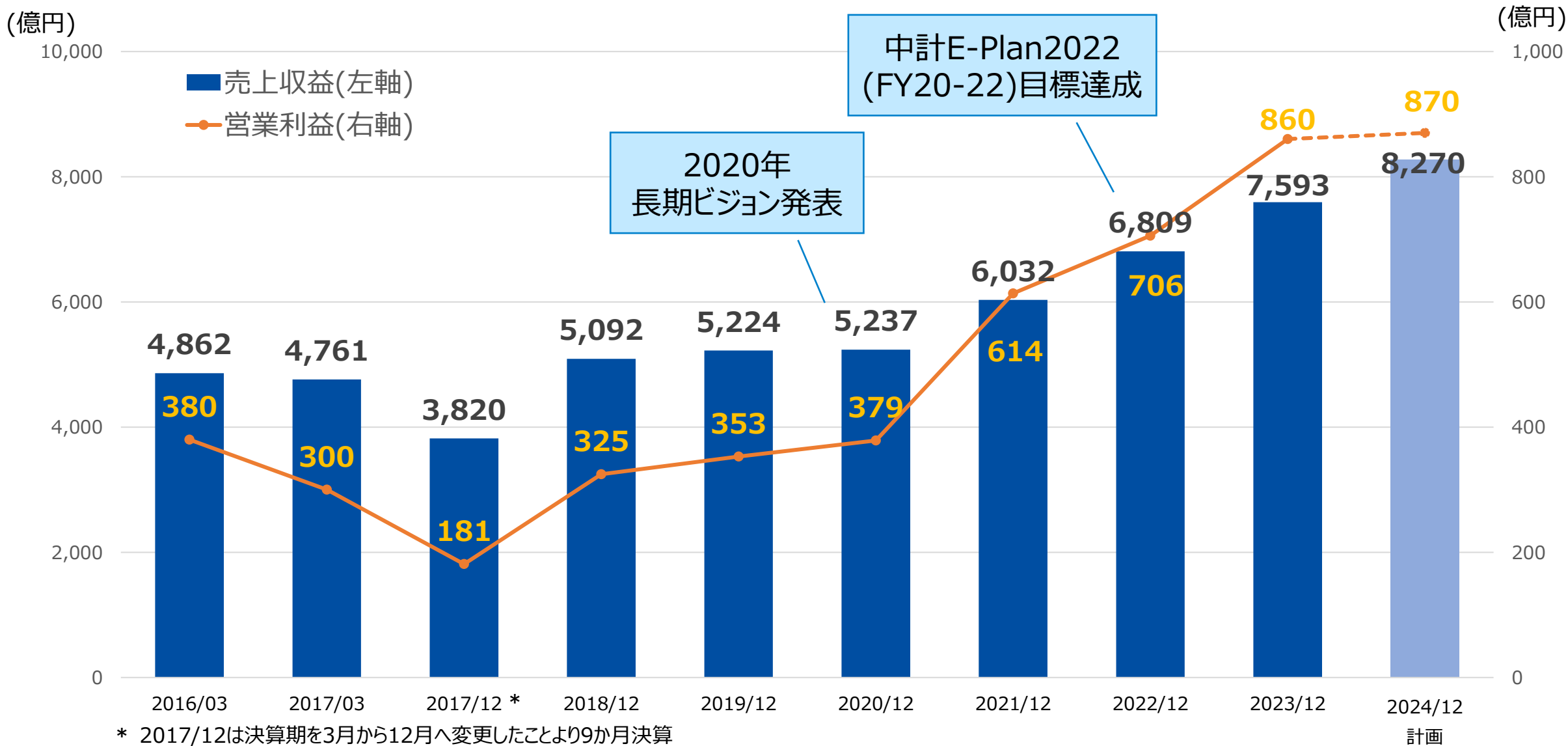
**世界シェア
2位**



サポートショップ及び
オーバーホール工場

世界で50か所以上

業績推移



1. 会社概要

2. 中期経営計画「E-Plan2025」

3. 決算進捗

4. 株主還元・株主優待

5. トピックス

E-Plan2022

更なる成長に向けた
筋肉質化

マーケットイン
の加速

E-Plan2025

顧客起点での
価値創造
= 起業化

バック
キャスト

E-Vision2030 2030年にありたい姿

「技術で、熱く、世界を支える」

事業を通じた社会課題の解決

- CO₂約1億トン相当の温室効果ガスを削減
- 世界で6億人に水を届ける
- I C A C 5への寄与…14 Åへの挑戦

経済価値

ROIC 11.6%
営業利益率 10.4%

ROIC 10%以上

ROE 15%以上

営業利益率 10%以上

■ 建築・産業 売上年平均成長率 **6%以上**

■ 精密・電子 売上年平均成長率 **15%以上**

■ 全社売上年平均成長率 **7%以上** 目途

ROIC 10%以上

ROE 15%以上

売上収益 1兆円規模

企業価値
(目安)

時価総額

1兆円規模

※ROIC計算式

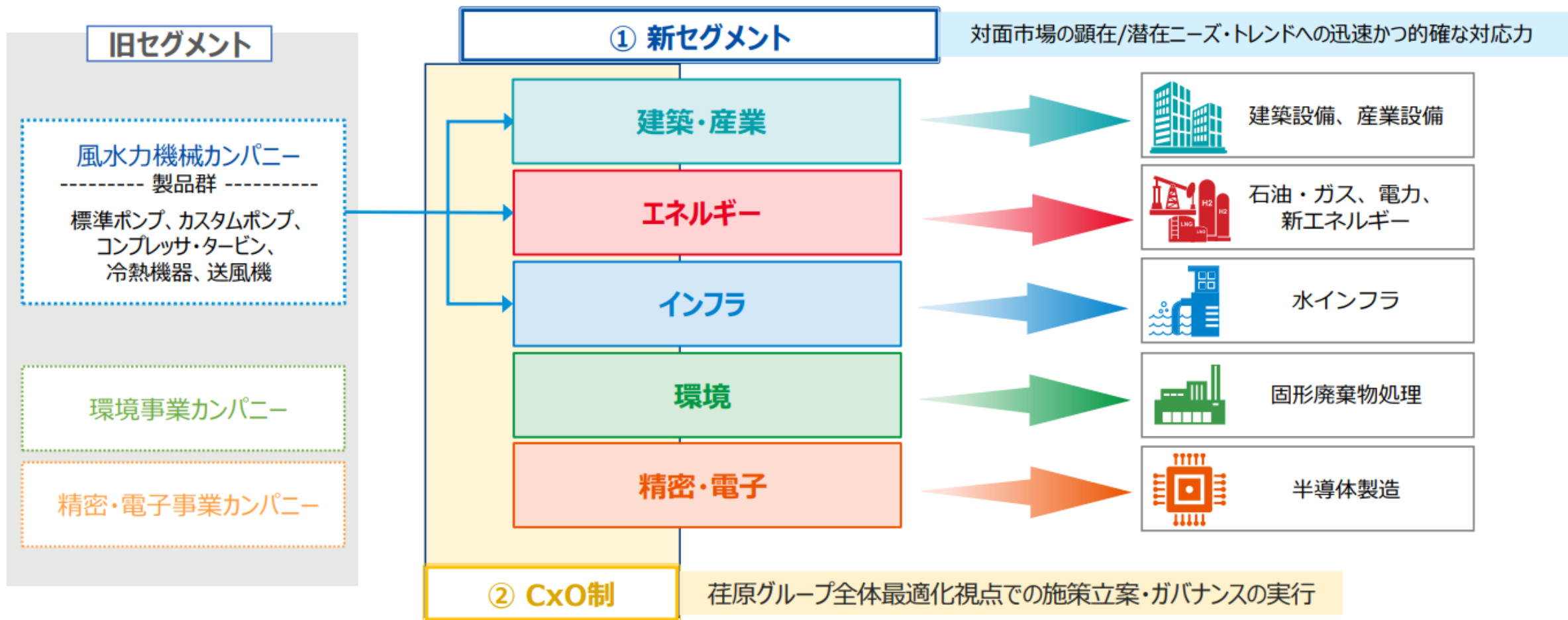
NOPLAT (みなし税引後営業利益) ÷ 投下資本 {有利子負債 (期首期末平均) + 株主資本 (期首期末平均) }

E-Plan2025 基本方針（対面市場・顧客起点）

戦略/取組方針

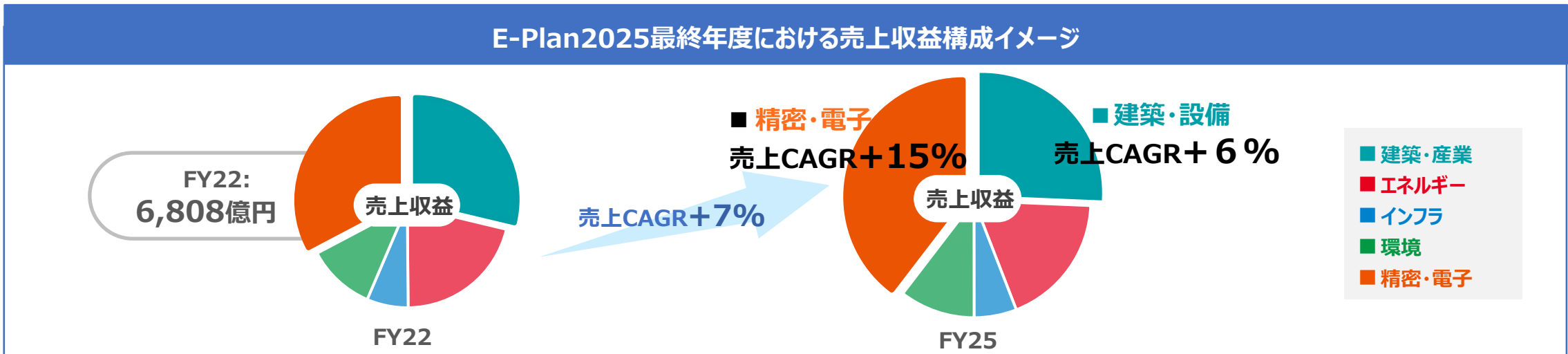
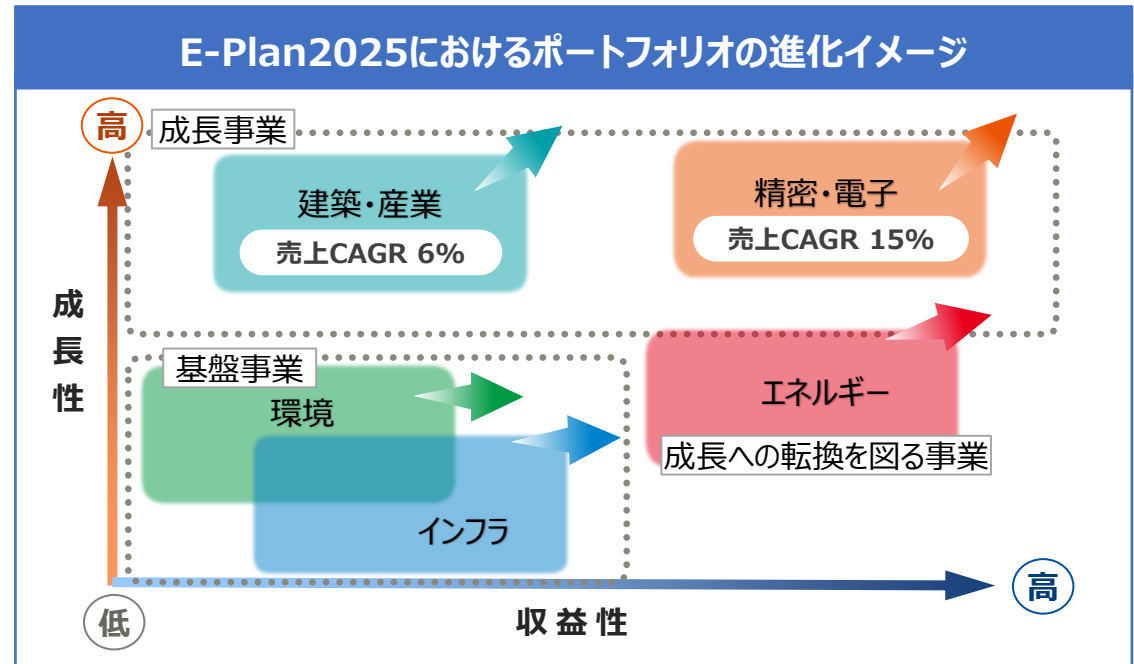
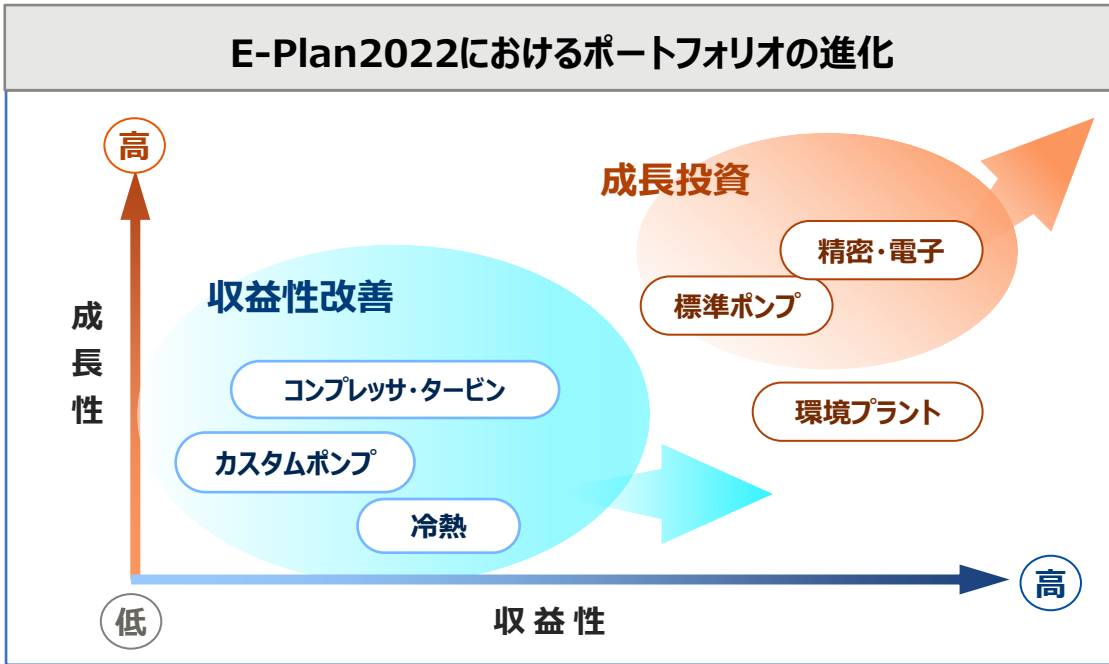
顧客対応力強化を意識した
組織・体制づくり

価値創造を加速させる仕掛けとして①対面市場別組織移行②部門横断機能新設
を通じた大規模な組織再編を実施





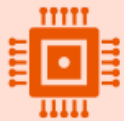


グループ人材マネジメント、システム統合（ERP）、グローバル調達、キャッシュプーリングなど

E-Plan2025 ポートフォリオの進化のイメージ



E-Plan2025 セグメント別取組方針と営業利益率目標

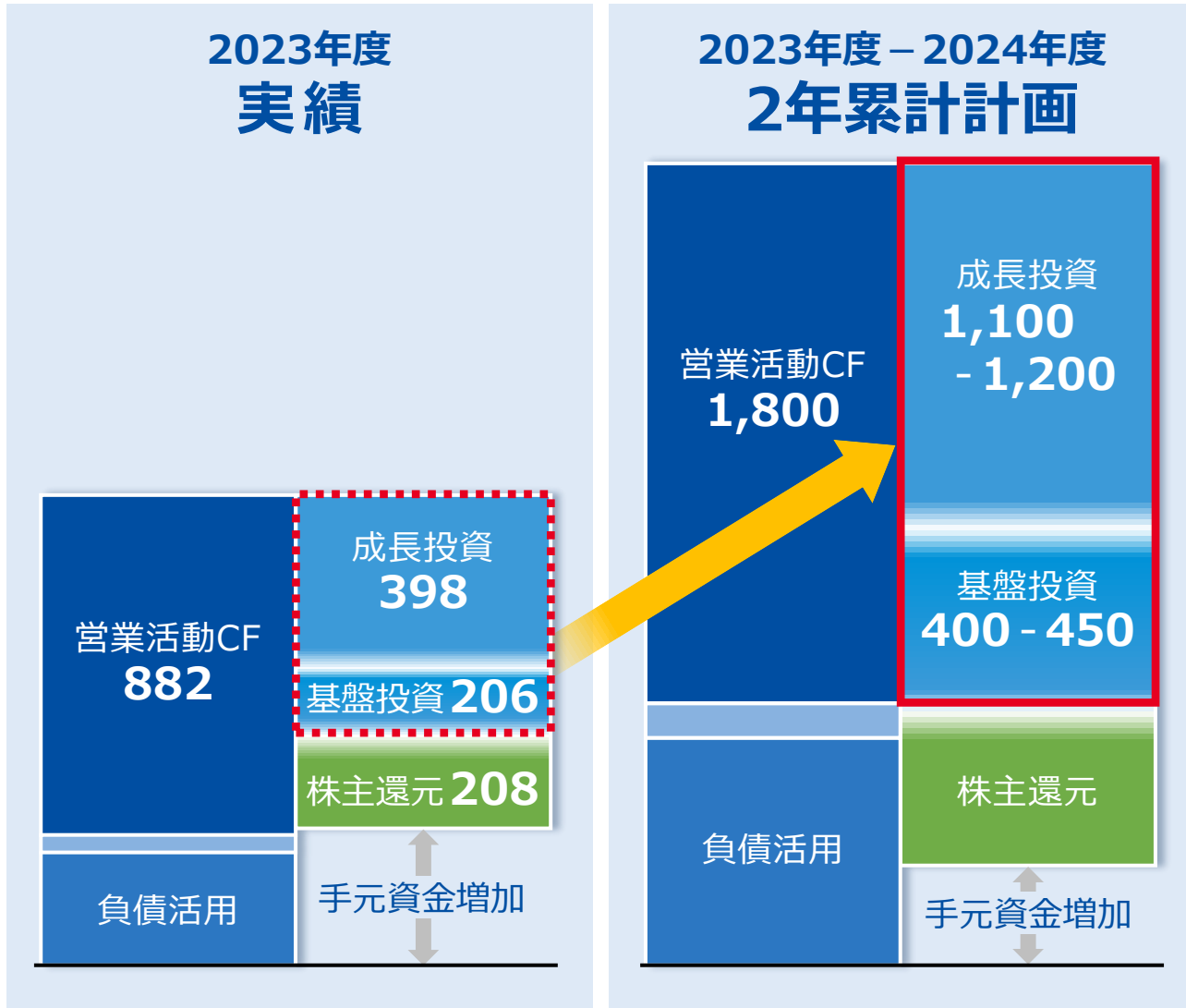
セグメント	位置づけ	対面市場別価値創造の方向性	FY25営業利益率目標
 建築・産業	成長事業	幅広い製品カバレッジを活かした総合ソリューションを提供	7%以上 売上CAGR6%以上
 エネルギー	成長事業への転換を 図る事業	脱炭素・次世代エネルギーのメガトレンドを踏まえ顧客・社会の変化に対応するソリューションを提供	12%以上
 インフラ	基盤事業 (安定的収益確保)	社会インフラを支えながら、国内は製品開発力強化などによる高シェアの維持、海外は成長市場の発掘	6%以上
 環境	基盤事業 (安定的収益確保)	脱炭素や資源循環の転換に対応した技術とサービス提供	7%以上
 精密・電子	成長事業	半導体の微細化、高度化を支える製造プロセス、サブファブ領域でのソリューションプロバイダへ	17%以上 売上CAGR15%以上

E-Plan2025の財務数値目標



	指標	FY22 実績	FY23 実績	FY24 計画	FY25 目標
効率性	ROIC	11.6%	12.2%	11.0%	10%以上
	ROE	15.0%	15.7%	14.2%	15%以上
収益性	営業利益率	10.4%	11.3%	10.5%	10%以上
成長性	連結 売上年平均成長率	(6,808億円)	11.5% (7,593億円)	10.2% (8,270億円)	7%以上
	建築・産業 売上年平均成長率	(1,935億円)	14.7% (2,221億円)	9.0% (2,300億円)	6%以上
	精密・電子 売上年平均成長率	(2,222億円)	11.1% (2,469億円)	9.2% (2,650億円)	15%以上

E-Plan2025のキャッシュアロケーション



<2024年度> 主な投資案件

- ▶ **建築・産業** M & A等を通じた海外成長市場の取り込み
- ▶ **エネルギー** S&S拠点の最適化、生産拠点の合理化
- ▶ **精密・電子** 工場や研究開発棟の国内外での建設
- ▶ **新規事業領域への投資**
- ▶ **全グループへの基幹業務システム(ERP)導入**

1. 会社概要

2. 中期経営計画「E-Plan2025」

3. 決算進捗

4. 株主還元・株主優待

5. トピックス

FY24 1-2Q 業績

	実績	前年同期比	
受注高	3,996 億円	+320 億円	+8.7%
売上収益	3,945 億円	+307 億円	+8.4%
営業利益	399 億円	+61 億円	+18.3%
営業利益率	10.1 %	+0.8pts	-

FY24 通期業績予想

	計画	前期比	
受注高	8,450 億円	+224 億円	+3.0%
売上収益	8,270 億円	+676 億円	+8.9%
営業利益	870 億円	+9 億円	+1.1%
営業利益率	10.5 %	-0.8 pts	-

ポイント

FY24 1-2Q 業績

- 受注高、売上収益、営業利益ともに、2Qとして過去最高業績を更新
- 半導体市場は、底打ち後の回復基調がより鮮明となり、精密・電子の受注高は前年同期比で増加
- 精密・電子、建築・産業を中心とした収益性改善により、前年同期比で18%の増益

FY24 通期業績予想

- インフラと環境の上期の受注状況と下期の見通しを踏まえ、全社受注高の通期業績予想を110億円上方修正
- 売上収益、営業利益については前回計画値を据え置き

FY24 1-2Q連結決算サマリ_セグメント別

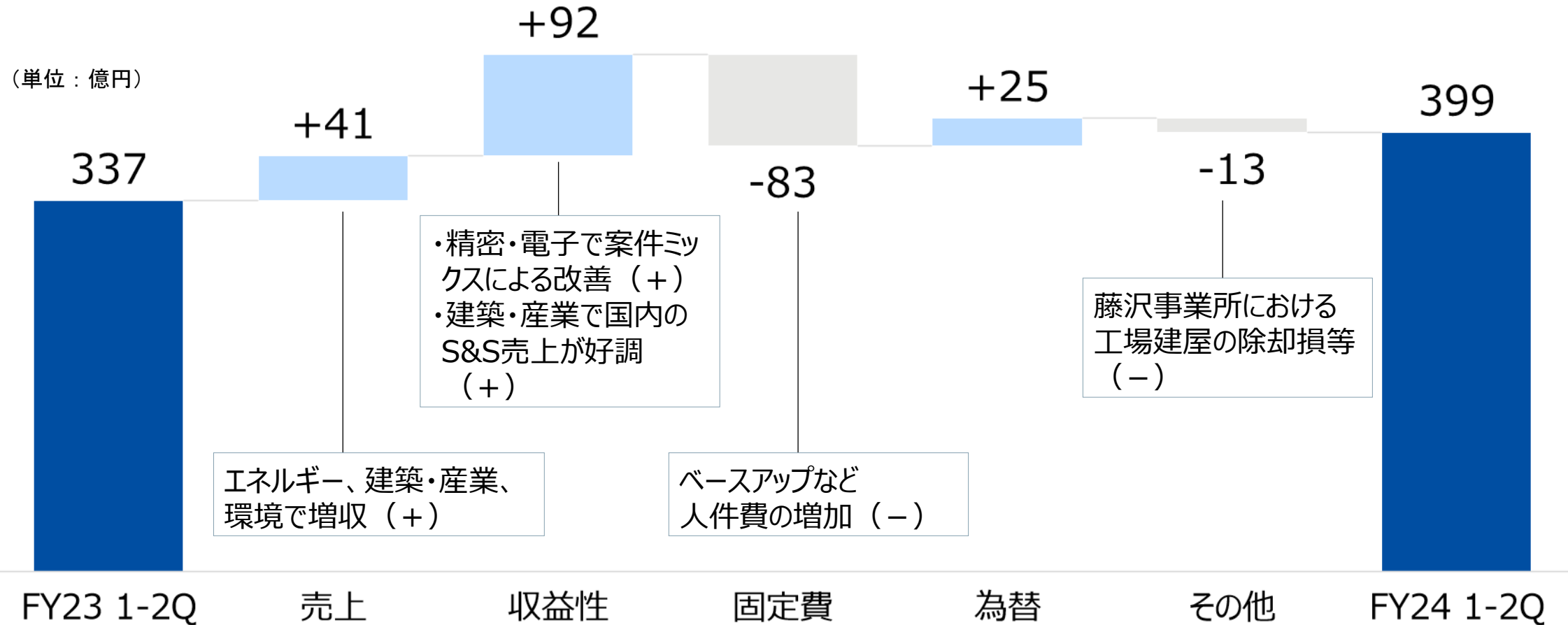


(単位：億円)

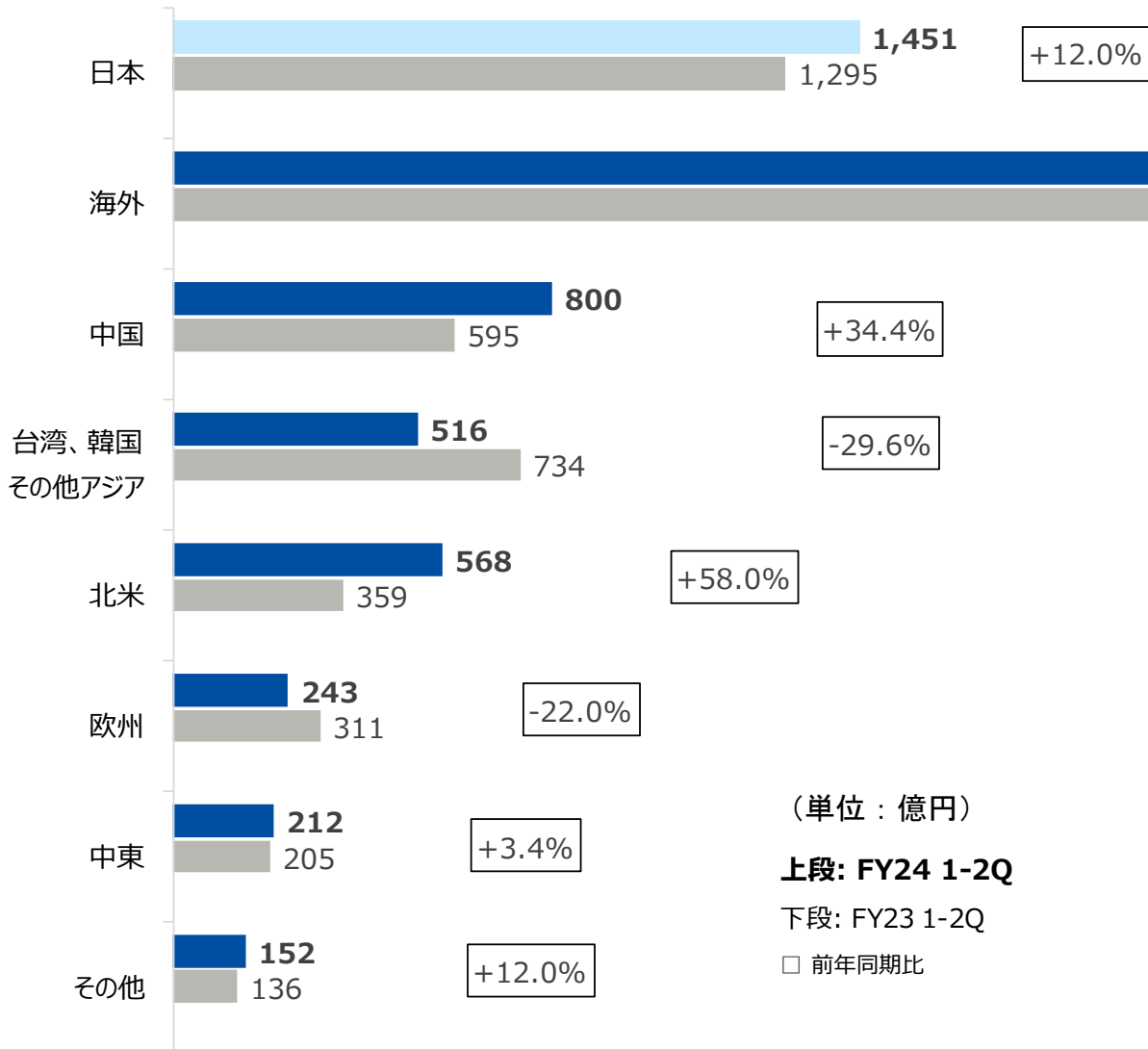
		FY23 1-2Q 実績 a	FY24 1-2Q 実績 b	前年同期比		FY24 1-2Q 計画 24/05/14 c	計画比	
				増減 b-a	増減率 (b-a)/a		増減 b-c	増減率 (b-c)/c
連結合計	受注高	3,676	3,996	+320	+8.7%	3,950	+46	+1.2%
	売上収益	3,638	3,945	+307	+8.4%	4,000	-54	-1.4%
	営業利益	337	399	+61	+18.3%	400	-0	-0.1%
	営業利益率	9.3%	10.1%	+0.8pts		10.0%	+0.1pts	
建築・産業	受注高	1,110	1,236	+125	+11.3%	1,170	+66	+5.7%
	売上収益	1,065	1,147	+82	+7.8%	1,130	+17	+1.6%
	営業利益	67	78	+10	+15.9%	75	+3	+4.1%
	営業利益率	6.3%	6.8%	+0.5pts		6.6%	+0.2pts	
エネルギー	受注高	1,014	955	-59	-5.8%	1,000	-44	-4.4%
	売上収益	794	926	+131	+16.6%	965	-38	-4.0%
	営業利益	73	75	+1	+2.5%	90	-14	-16.6%
	営業利益率	9.2%	8.1%	-1.1pts		9.3%	-1.2pts	
インフラ	受注高	252	287	+34	+13.7%	275	+12	+4.5%
	売上収益	292	258	-34	-11.8%	280	-21	-7.7%
	営業利益	44	30	-13	-30.0%	35	-4	-11.9%
	営業利益率	15.0%	11.9%	-3.1pts		12.5%	-0.6pts	
環境	受注高	492	352	-140	-28.5%	300	+52	+17.4%
	売上収益	309	383	+74	+23.9%	385	-1	-0.3%
	営業利益	26	36	+9	+37.1%	35	+1	+3.1%
	営業利益率	8.5%	9.4%	+0.9pts		9.1%	+0.3pts	
精密・電子	受注高	799	1,159	+359	+45.0%	1,200	-40	-3.4%
	売上収益	1,169	1,222	+53	+4.6%	1,235	-12	-1.0%
	営業利益	126	192	+66	+52.9%	170	+22	+13.5%
	営業利益率	10.8%	15.8%	+5.0pts		13.8%	+2.0pts	
その他、調整	受注高	5	5	-0		5	+0	
	売上収益	6	5	-0		5	+0	
	営業利益	0	-13	-14		-5	-8	
	営業利益率	9.1%	-227.6%	-236.7pts		-100.0%	-127.6pts	

FY24 1-2Q連結決算サマリ_営業利益増益分析

収益性の改善や売上増の寄与が固定費の増加を上回り増益



FY24 1-2Q連結決算サマリ_地域別売上収益

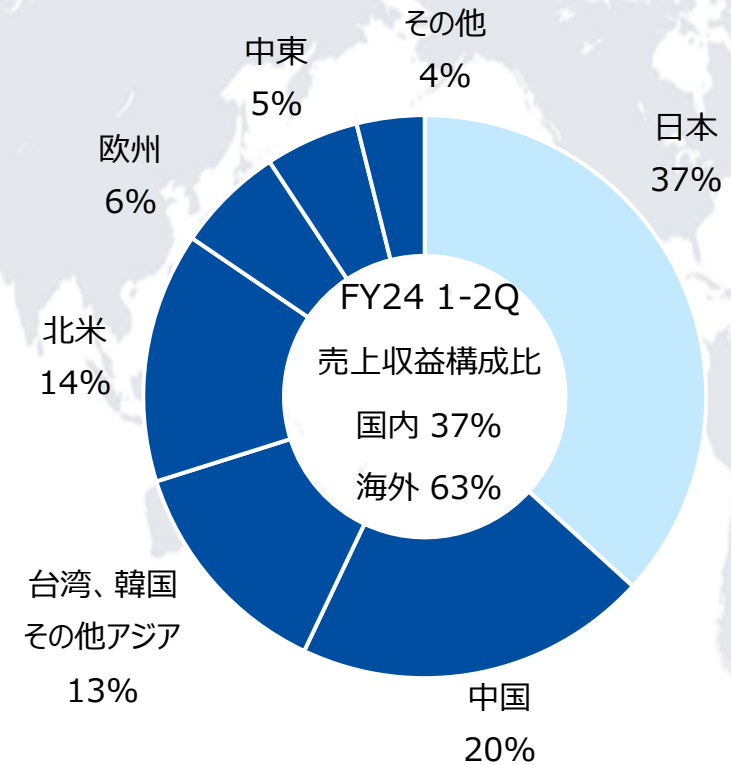


(単位：億円)

上段: FY24 1-2Q

下段: FY23 1-2Q

□ 前年同期比



※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

FY24 業績予想



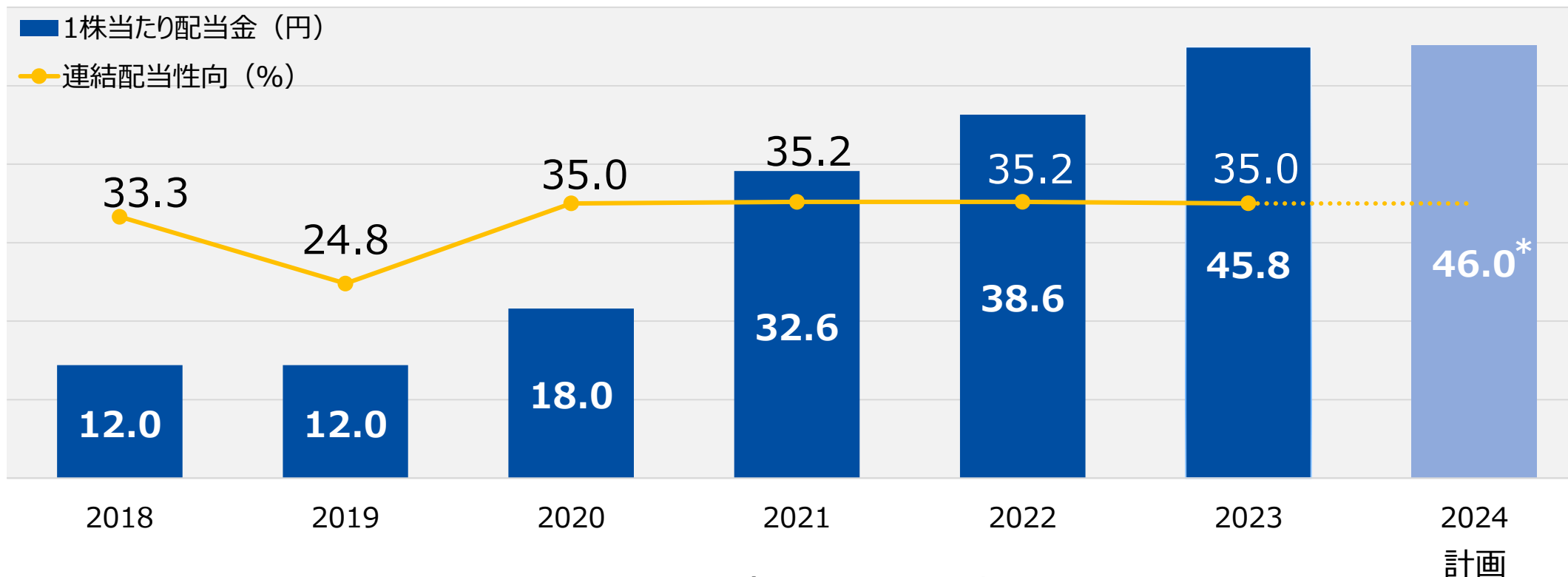
期初計画から
110億円上方修正

	FY23 実績	FY24 計画	前期比
受注高	8,205億円	8,450億円	+3.0%
売上収益	7,593億円	8,270億円	+8.9%
営業利益	860億円	870億円	+1.1%
営業利益率	11.3%	10.5%	-0.8pts
ROIC	12.2%	11.0%	-1.2pts
ROE	15.7%	14.2%	-1.5pts

1. 会社概要
2. 中期経営計画「E-Plan2025」
3. 決算進捗
- 4. 株主還元・株主優待**
5. トピックス

配当方針

連結配当性向35%以上を目標に当該期の業績に連動して実施



■ 2024年の1株あたり年間配当金は46円*（前期比+20銭）を計画

* 7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施済み
比較検討しやすいよう、2023年以前の年間配当金は分割後の金額で遡及して記載

株主優待制度の導入

- 2024年10月8日付にて株主優待制度の導入を発表いたしました。

目的

当社株式への投資の魅力を高め、
より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有いただくため

対象株主

毎年12月31日現在の株主名簿に記録された
当社株式1单元（100株）以上を保有する株主

優待内容

荏原 畠山美術館の招待券1枚
※2名様まで入館可能

贈呈時期

毎年3月開催の定時株主総会後

荏原 畠山美術館ホームページ
<https://www.hatakeyama-museum.org/>



荏原 畠山美術館 本館外観（撮影 伊奈英次）

1. 会社概要
2. 中期経営計画「E-Plan2025」
3. 決算進捗
4. 株主還元・株主優待
5. **トピックス**

2020年2月
長期ビジョン
「E-Vision2030」
を発表

2024年2月
通期決算発表後に
初めて時価総額1兆円
を突破

2024年7月
普通株式1株を
5株に分割



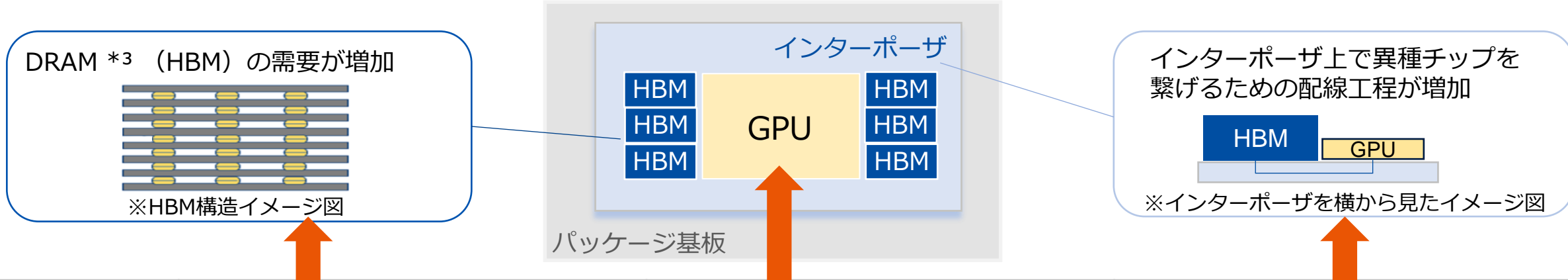
※2024年7月実施の株式分割後の株価表示

生成AI向け半導体と精密・電子セグメントの製品需要との関係

- 生成AI向け半導体で鍵となるのはGPU*1 とHBM*2 であり、さらに、それらをつなぐインターポーザ上での配線工程が重要となっている
- 上記3つの需要に対して、当社の製品群は貢献しており、ビジネスの拡大が期待される

<精密・電子セグメント製品の需要動向>

生成AI向け半導体のパッケージ（イメージ）

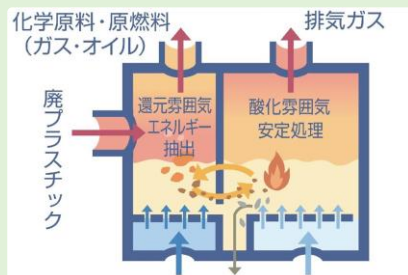


需要	HBM製造向け	GPU製造向け	パッケージング向け
関連する製品	■ CMP、コンポーネント	■ CMP、コンポーネント	■ めっき装置
背景	<ul style="list-style-type: none"> ■ HBMの生産量の増加 ■ DRAM積層数の増加 ■ ハイブリッドボンディングの採用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ GPUの生産量の増加 ■ 次世代ノードのGPUの採用 ■ BS-PDN*4の採用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配線工程の増加
精密・電子の製品需要動向	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在：顧客の高稼働率、増産によりS&S需要が増加 ■ 将来：製品の需要増加も見込む 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在：顧客の高稼働率、増産によりS&S需要が増加 ■ 将来：製品の需要増加も見込む 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2023年下期より、受注が増加

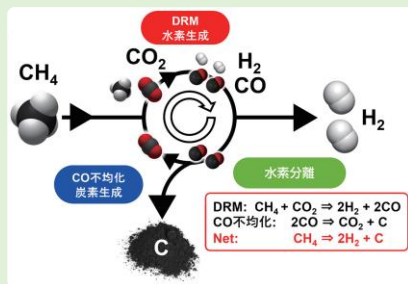
参考資料：EBARA IR Day 2023 https://www.ebara.co.jp/ir/library/business-briefing/_icsFiles/afieldfile/2023/12/03/231204_PM.pdf#page=10

*1 GPU:Graphics Processing Unit *2 HBM:High Bandwidth Memory *3 DRAM:Dynamic Random Access Memory *4 BS-PDN:Backside Power Delivery Network

つくる



廃プラスチック等のケミカルリサイクル



ターコイズ水素製造

メタン (CH₄) ⇒ 水素 (H) と炭素 (C) へ

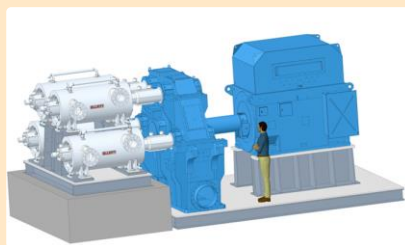
はこぶ



-253°Cの液体水素ポンプ



超高压プランジャポンプ



水素ガスコンプレッサ

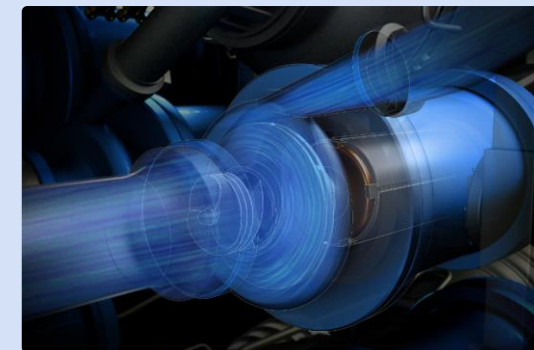


無漏洩アンモニアポンプ

つかう



水素炎吸収冷温水機



ロケット・水素航空機用ポンプ

液体水素ポンプの実液試験設備を完備した 世界初の実スケール商用製品試験・開発センターを新設



外観イメージ



施設名称 (仮称) Ebara - Hydrogen Equipment
Test and Development Center
(E-HYETEC : イーハイテック)

所在地 千葉県富津市 (自社所有地)

投資額 約160億円

施設内容 液体水素ポンプ製品性能試験設備、
関連要素技術開発設備 など
(天候に左右されない屋内閉鎖型試験施設)

竣工 2026年6月 (予定)
※2025年に一部試験設備の運用開始予定

9月12日付ニュースリリース :

https://www.ebara.co.jp/corporate/newsroom/release/company/detail/1221154_1673.html



2024年6月に統合報告書2024を発行

ポイント

- ・価値創造ストーリーを分かりやすい表現に見直し
- ・生産革新活動や知財におけるROICマネジメントなどの進捗状況の説明
- ・取締役会の活動や、株式市場と社外取締役との対話の掲載
- ・コングロマリット・プレミアム創出の可視化



<https://www.ebara.co.jp/ir/library/annual-report/index.html>

◆ 価値創造ストーリー



◆ ありたい姿と経営資本の関係



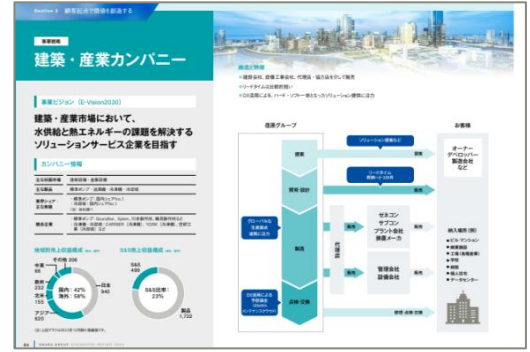
◆ コア技術や事業間シナジー



◆ ROICマネジメント



◆ ビジネスモデル



◆ 株式市場と社外取締役との対話



IRメール配信サービスのご紹介



投資家の皆様に当社をより深くご理解いただけるよう、当社ウェブサイトにて企業情報や決算説明会の資料など最新のIR情報を掲載しています。
本日説明できなかった当社の取り組みも多数掲載していますので、是非ご覧ください。

また、当社では、最新のニュースリリース掲載時に電子メールでお知らせするIRメール配信サービスを提供しております。是非ご活用ください。

https://www.ebara.co.jp/ir/support/information/ir_mail.html

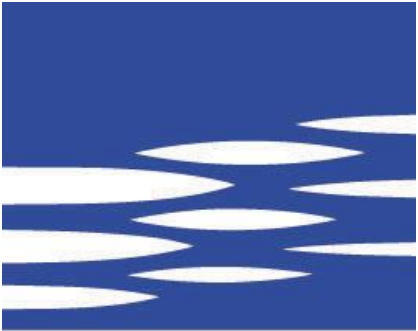
The screenshot shows the Ebara website header with the logo and navigation menu. The main content area features a large heading "IRメール配信サービス" (IR Email Distribution Service) and a light blue background with text explaining the service. The text states that the latest news releases and other IR information will be sent to the registered email address. It also mentions that the service is provided by Magical Pocket Co., Ltd. and that Ebara does not assume responsibility for the service.

荏原製作所 IRメール配信



質疑応答

ご質問がある方はzoom画面下のQ&Aボタンから
ご質問を入力してください。



EBARA

【資料に関するご注意】

本資料にて開示されているデータ及び将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので種々の要因により変化する事が有ります。従って、本資料は記載された目標、予測の達成及び将来業績を保証するものではありません。

また、本資料及びこれらの情報の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料を利用した結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。